

コース #2 解剖学

Coordinator 久野 節二

Sub-coordinator 一條 裕之、野上 晴雄

開講時期：M2 1学期 5月9日（月）～6月17日（金）（6週間）

1. 一般目標（GIO）

骨格、筋、神経、血管より構成される運動器の構造と機能を理解する。また、胸部内臓、腹部内臓、骨盤内臓の外景、相互の立体的位置関係さらに血管および神経の分布を明らかにし人体構造の理解への基礎を作る。

2. 行動目標（SBO）

- 1) 人体構造を表現する解剖学一般用語、人体の各部と身体の体位の呼称を示す用語を理解する。
- 2) 骨の形態的分類および関節の種類を列挙できる。頭部、体肢、体幹の骨格の形態的特長と連結を理解し、説明できる。
- 3) 頭部、体幹、体肢の筋の形態的特徴を観察し、筋の起始と停止、支配神経、作用を説明できる。
- 4) 頭部、体幹、体肢の動静脈系を観察し、それらの名称、走行、分布が正確に説明できる。
- 5) 脳神経および脊髄神経の走行と分布を観察し、それらの走行、分布、機能を説明できる。自律神経の分布を観察し、機能を理解する。
- 6) 胸部、腹部、骨盤内臓の位置、相互関係、外景、内景を観察し、その構造および機能の概略が表現できる。

3. 学習の進め方

医学の基本となる人体の構造を、肉眼解剖学実習を通して学習する。

解剖学の基本について講義を通して学習する。

講義

	学習項目	担当教官	Keywords 或いは 概要
1	運動器総論	成田正明	骨と関節の構造と機能、筋の構造、支配神経
2	末梢神経総論	久野節二	神経系の構成、末梢神経の定義
3	脊髄神経	久野節二	脊髄神経構成と支配領域
4	脳神経	久野節二	脳神経の構成、作用、走行、支配領域
5	循環器総論	野上晴雄	心臓の構成、動静脈系、リンパ系の構成
6	自律神経	久野節二	自律神経系の構成、起始核、神経節、神経叢

実習

実習開始時に予定表と実習内容説明を配布

4. リソースパーソン

教員名	日時	連絡先	場所
久野節二（解剖学・教授）	実習期間中随時		
野上晴雄（解剖学・助教授）	実習期間中随時		
一條裕之（解剖学・発生学・助教授）	実習期間中随時		
成田正明（解剖学・講師）	実習期間中随時		
首藤文洋（解剖学・講師）	実習期間中随時		

5. 評価

実習期間中に 2 度行う口頭試問、実習終了後提出するレポートおよび記述試験により総合的に成績を評価する。

6. 教科書

実習書：「解剖実習の手引き」および「骨学実習の手引き」とともに寺田春水、藤田恒夫著 南山堂

参考書：日本人体解剖学 金子丑之助著 南山堂

図説人体解剖学 ソボタ著 医学書院

ネッター解剖学図譜 フランク H.ネッター著 丸善

解剖学 グレイ著 浅見一羊ほか訳 広川書店

7. 試験範囲に含まれる項目

- 体表から観察できる主要な構造について解剖学的に説明できる。
- 骨格および関節の構成について説明できる。
- 身体の運動とこれに関わる筋について働きと、神経支配、支配血管について説明できる。
- 内臓の位置と相互の関係、基本的な働きについて説明できる。
- 呼吸器系、消化器系、内分泌系、泌尿器系、生殖器系、感覚器系、循環器系および末梢神経系などの構成と基本的な働きについて説明できる。
- そのほか、コアカリキュラムに含まれる項目はすべて試験の対象となる